

マクセル アクアパーク品川、八重山漁業協同組合サンゴ種苗生産部会と “サンゴ保全”への連携協定を締結

『マクセル アクアパーク品川』（所在地：東京都港区高輪4-10-30 品川プリンスホテル内、館長：山田亜希子）は2022年8月1日（月）、沖縄県石垣島の周辺海域でサンゴの養殖を行う「八重山漁業協同組合サンゴ種苗生産部会」と水槽設備における協力企業「A I ネット株式会社」とともに“サンゴ礁およびサンゴの研究、教育普及”に関する3者連携協定を締結いたしました。今後は同協定の下、サンゴ礁再生に関する活動や教育普及活動、サンゴの研究について連携を行います。

“エンターテインメント”を介して海の世界や生きものの魅力を発信する当館は、「来館し、海の世界に興味を持っていただくことがサステナブルな未来に繋がる」という理念の下、【SDGs 14：海の豊かさを守ろう】へのアクションを行っています。

その一環として2021年より、展示生物と親和性の高い“サンゴ礁”に着目し、再生への取り組みや直面している課題を多くの来館者にお伝えしてまいりました。実績として2021年9月、同部会から提供された養殖サンゴ「ヤッコミドリイシ」の人工海水を使用した閉鎖循環水槽内での産卵に国内で初めて成功。今年5月には「ヤングミドリイシ」の産卵から着床にまで至り、こちらも国内で初のケースとなりました。

さらに、今年7月20日（火）より“サンゴ礁再生”への活動を深く学べる「Coral Lab(コーラルラボ)」を新設し、サンゴの産卵環境や養殖の様子をご覧いただける水槽展示を行っています。

■今後の展望

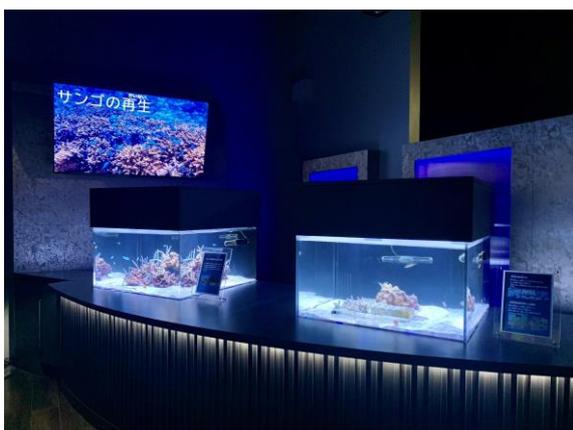
将来的には“品川生まれ・品川育ち”のサンゴを、親サンゴのくらす八重山の海に返すことでサンゴ礁の再生に貢献することを目指します。今回の協定締結により連携をさらに強化していくことで、今まで知り得なかったサンゴの生態・魅力の発見に繋げていくとともに、多くの方に“海”について感じ、考える機会を発信してまいります。



【幻想的なヤングミドリイシの産卵シーン】



【着床し、変態したヤングミドリイシの“稚サンゴ”】



【新展示「Coral Lab」】